


**IAM MARKET INSIGHT**  
**マーケット・インサイト**

2025年6月16日

代表取締役社長 秋野 充成

**今週のポイント** いちよしアセットマネジメント**イスラエルとイランが軍事衝突。中東情勢緊迫化への懸念が高まる**

イスラエル軍は13日からイラン各地にある核関連施設や軍事施設等への大規模な攻撃を始め、イラン軍のトップ等を殺害しました。首都テヘランがある州では少なくとも78人が死亡したと伝えられています。

これに対し、イランは日本時間の14日未明、イスラエルに対する報復攻撃に乗り出し、軍事精鋭部隊の革命防衛隊は弾道ミサイルや無人機でイスラエルの軍事拠点や空軍基地等を標的にしたとしています。イランの国営テレビは、革命防衛隊の幹部がイスラエルへの報復でこれまでに150の標的を攻撃したとした上で「作戦は必要なだけ続く」と述べたと伝えています。

イスラエルでは、イランによる攻撃で中部にある最大都市テルアビブやその近郊等で被害が出ていて、複数の地元メディアはこれまでに3人が死亡、70人以上が怪我をしたと伝えています。イスラエルでは14日午前も一部地域で防空警報が出され、イスラエル軍はイランが発射した無人機を迎撃したと発表しました。一方、イスラエル軍もイランへの攻撃を断続的に行っていて、14日の発表でこれまでに数百の標的を空爆しイラン側の防空能力をそいで制空権で優位に立ったとしています。その上で攻撃をさらに続ける姿勢を強調していて、中東の軍事大国同士のさらなる攻撃の拡大が懸念されています。

**中東情勢の緊迫化を受けて原油価格が急騰。米トランプ大統領の出方も今後の焦点に**

中東での有事を受けて、13日の米国株式市場ではNYダウが一時800ドル下落となり、VIX指数<sup>※1</sup>も終値で20.82と20を超えました。また、WTI原油先物<sup>※2</sup>価格は一時77.62ドルと、期近物としては1月以来約5か月ぶりの高値を付けました(終値は72.98ドル)。「有事の金」も上昇し、COMEX金先物<sup>※3</sup>価格は史上最高値を更新しました。しかし、イスラエルによるイランの核施設攻撃は、従前からその可能性について多くの報道がなされており、青天の霹靂ではなく、第一報のマーケットへの打撃は比較的軽微となりました。

ただし、今後は予断を許さない状況です。ポイントは、イスラエル支持を明確にしている米トランプ大統領です。好戦的姿勢を鮮明にしているネタニヤフ首相を制御し、イランとの核協議継続に漕ぎつけることができるかが焦点となりますが、それは至難の業と言えます。ネタニヤフ首相を取り巻く政治的環境は厳しいと思われるからです。国内では長期化するガザ戦闘に対し厭戦(えんせん)ムードが広がり、支持率は低下傾向にあります。内閣総辞職の危機はかろうじて乗り切りましたが、政権運営は綱渡りの状態が続いています(自らは汚職罪に問われている)。ガザ戦闘継続に続き、イラン攻撃も保身をかけた危険な賭けとなります。

トランプ大統領によるネタニヤフ首相制御が上手く行かず、中東有事が激化する可能性があります。テールリスク<sup>※4</sup>として、イランがホルムズ海峡を封鎖するほか、サウジアラビアの石油・ガス施設を攻撃する等、戦闘や影響が両国を越えた地域に広がることも想定されます。テールリスクの実現度が高まれば、原油価格100ドル超えが見えてきます。あくまでもテールリスクであり、メインシナリオではありませんが、不確実性が一段と大きくなったことは間違いありません。

**～ワンポイント用語集～**

※1 VIX指数…「Volatility Index」の略で、米シカゴオプション取引所がS&P500指数のオプション取引の値動きを基に算出・公表している指数。一般的に数値が高いほど、投資家が先行きに対し不安を感じているとされる。

※2 WTI原油先物…ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引されている米国の代表的な原油先物商品のこと。WTIとは「West Texas Intermediate」の略。取引量と市場参加者が多いことから、原油価格の代表的な指標の1つに数えられている。

※3 COMEX金先物…ニューヨーク商品取引所(COMEX)で取引されている金先物商品で、その価格は世界の市場関係者が注目している。COMEXは「Commodity Exchange」の略称。

※4 テールリスク…発生確率は低いものの、発生すると相場が暴落する等、大きな損失を被ることになるリスクのこと。

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。  
◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績等の記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。